

資料 6

平成 30 年度第 1 回県南東部地域医療構想調整会議

赤磐医師会病院 資料

平成 30 年 8 月 1 日開催

1. 赤磐医師会病院 公的医療機関等2025年プランにおける具体的な計画

① 医療機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成 28 年度病床機能報告)		将来 (2025 年度)
高度急性期	なし	→	なし
急性期	2 病棟 103 床		2 病棟 91 床
回復期	2 病棟 108 床		2 病棟 98 床
慢性期	1 病棟 34 床		1 病棟 44 床
(合計)	5 病棟 245 床		5 病棟 233 床

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017 年度	機能のあり方を検討する。	病院が保持すべき機能と規模について結論を出す。	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 集中的な検討を促進 2年間程度で </div> <div style="display: flex; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 第7期 介護保険 事業計画 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 第7次医療 計画 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 第8期 介護保険 事業計画 </div> </div>
2018 年度	回復期の病床を検討する。 慢性期の病床を検討する。	減少 増床	
2019～2020 年度	急性期の病床を検討する。	減少	
2021～2023 年度	介護療養型病床のあり方を検討する。	介護療養型病床を廃止する。	

2. 病棟単位具体的な編成計画

① 現在の病棟の内訳

病棟単位	施設基準	病床の種別	病床の医療機能別
南2階病棟 52床	急性期一般入院料4 103床	一般病床 151床	急性期 103床
西2階病棟 51床			
東3階病棟 48床	地域包括ケア病棟入院料2 48床	療養病床 94床	回復期 108床
南3階病棟 60床	回復期リハビリテーション病棟入院料3 60床		慢性期 34床
西3階病棟 34床	療養病棟入院料1 34床		
5病棟 245床	5病棟 245床	2種 245床	3機能 245床

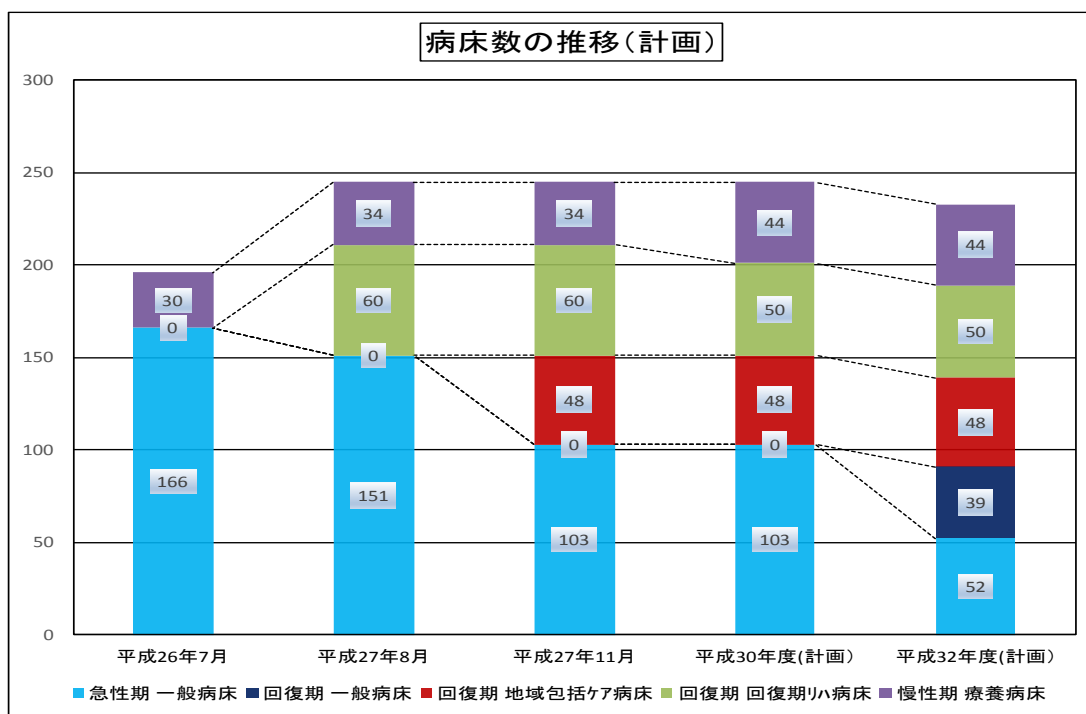
② 2018年度における病棟再編計画

病棟単位	施設基準	病床の種別	病床の医療機能別
南2階病棟 52床	急性期一般入院料4 103床	一般病床 151床	急性期 103床
西2階病棟 51床			
東3階病棟 48床	地域包括ケア病棟入院料2 48床	療養病床 94床	回復期 98床
南3階病棟 50床	回復期リハビリテーション病棟入院料3 50床		慢性期 44床
西3階病棟 44床	療養病棟入院料1 44床		
5病棟 245床	5病棟 245床	2種 245床	3機能 245床

③ 2019 年度～2020 年度における病棟再編計画

病棟単位	施設基準	病床の種別	病床の医療機能別
南2階病棟 52 床	急性期一般入院料4 91 床	一般病床 139 床	急性期 52 床
西2階病棟 39 床			回復期 137 床
東3階病棟 48 床	地域包括ケア病棟入院料2 48 床	療養病床 94 床	
南3階病棟 50 床	回復期リハビリテーション病棟入院料3 50 床		
西3階病棟 44 床	療養病棟入院料1 44 床		
5 病棟 233 床	5 病棟 233 床	2 種 233 床	3 機能 233 床

資料1



赤磐医師会病院病床数(計画)

単位: 床

区分	平成26年7月	平成27年8月	平成27年11月	平成30年(計画)	平成32年(計画)
急性期 一般病床	166	151	103	103	52
回復期 一般病床	0	0	0	0	39
回復期 地域包括ケア病床	0	0	48	48	48
回復期 リハ病床	0	60	60	50	50
慢性期 療養病床	30	34	34	44	44
計	196	245	245	245	233

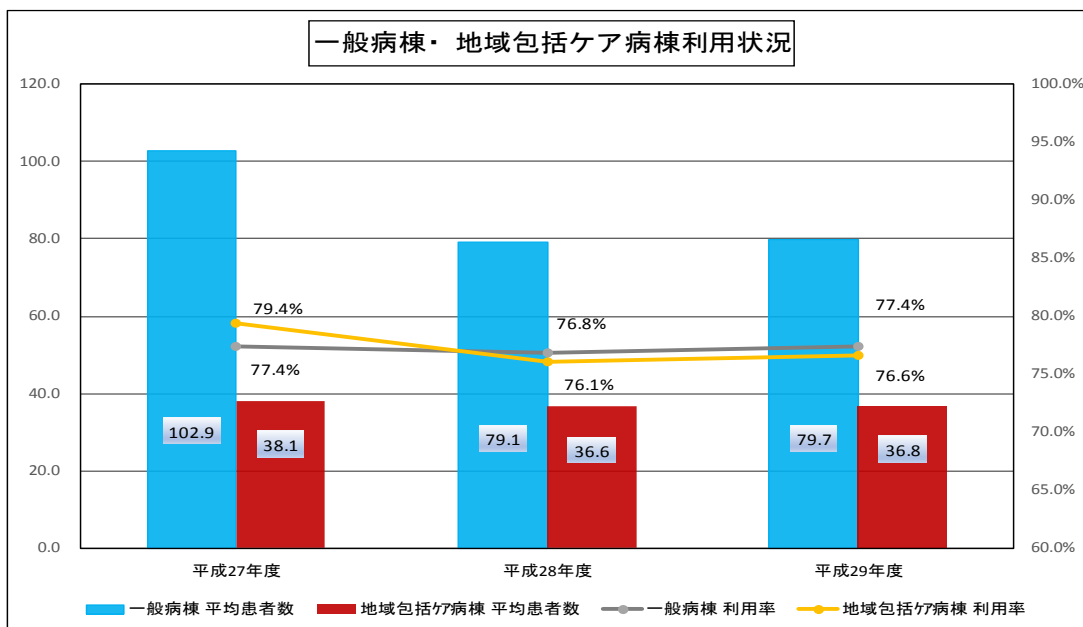
3. 2018 年度における病棟の再編理由

① 赤磐医師会病院における療養病棟の現状と課題

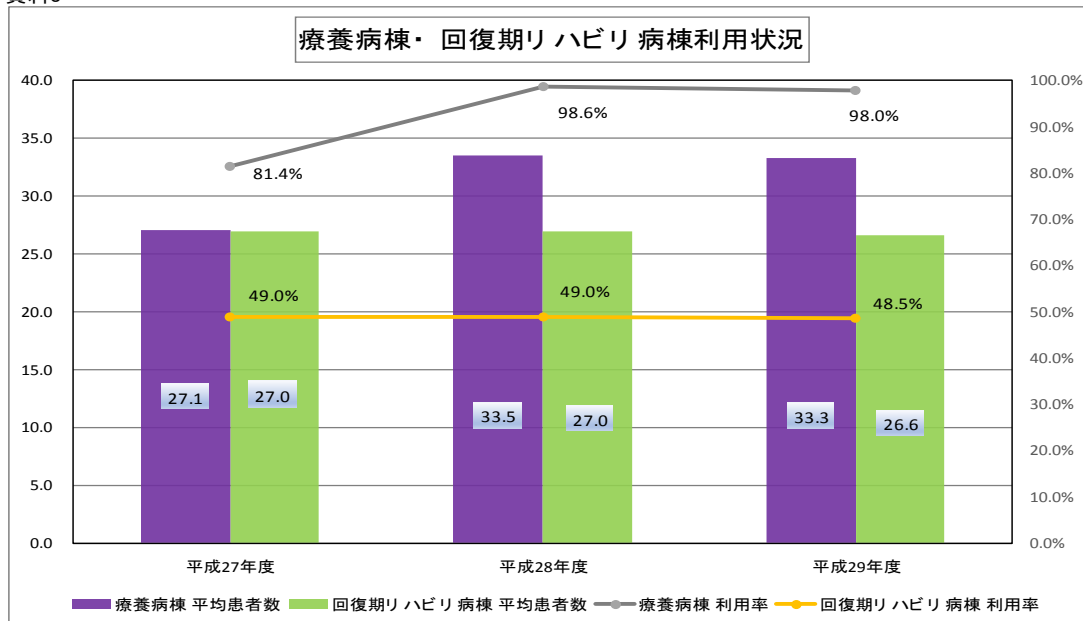
療養病棟の病床利用率が非常に高く、病床数が常に不足している。また患者全体の医療必要度が高く、在宅での医療が困難である患者が多い。

- ・ 年間平均病床利用率は 98%以上で、医療区分2・3の割合が 90%以上となっている。特に医療区分3の患者が多く、平成 29 年度の資料では 66.3%となっている。国の調査データより高く、医療必要度が高い。

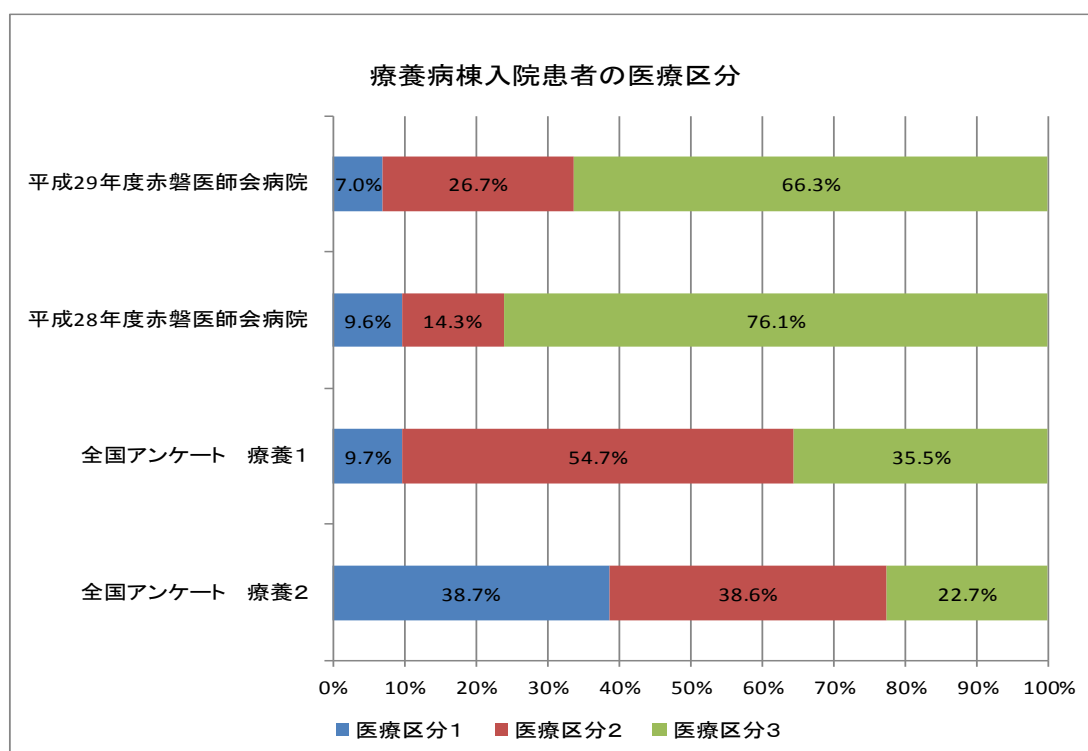
資料2



資料3



資料 4

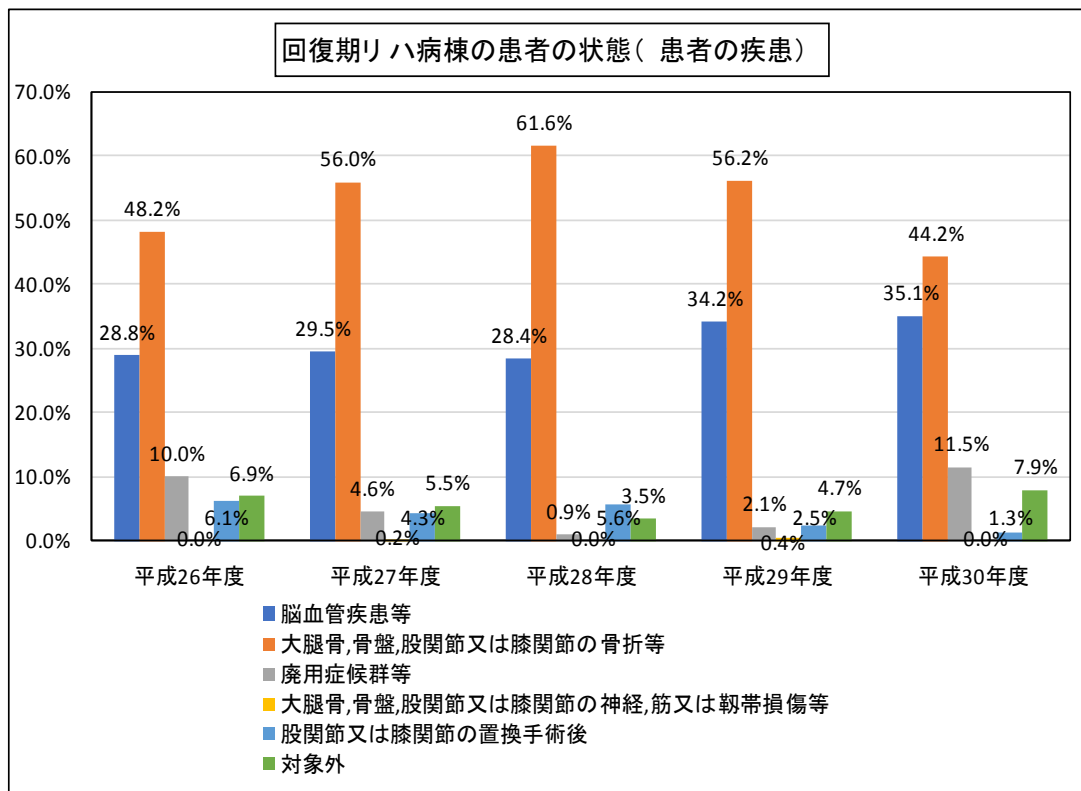


※平成29年度第5回中央社会保険医療協議会診療報酬調査専門組織 患者等の調査・評価分科会資料

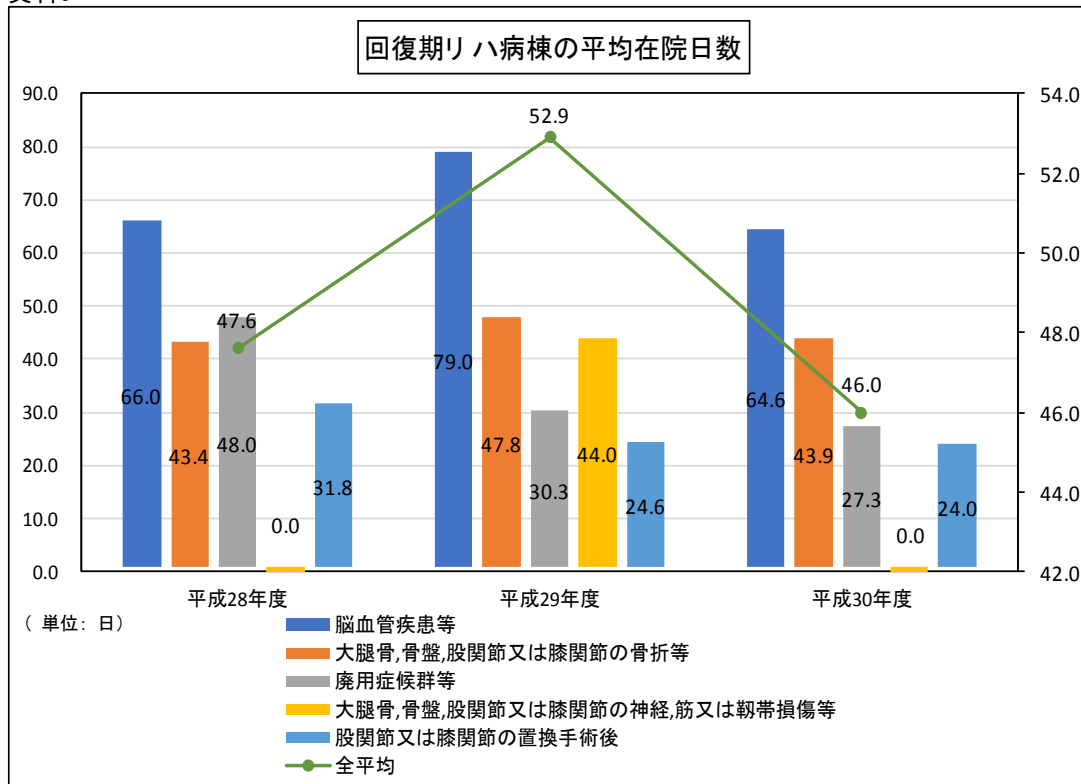
② 赤磐医師会病院における回復期リハビリテーション病棟の現状と課題

- ・ 回復期リハビリテーション病棟の稼働率が低迷している。適正な病床数の検討が必要である。
- ・ 患者の疾患としては、脳血管疾患と骨折が主であるが、適切なリハビリを実施することにより、平均在院日数が多くないにもかかわらず、重症度の高い入院患者に、高いアウトカムを引き出し、在宅への復帰を実現している。
- ・ 1つの病棟が2つの建物に分かれており、療養病棟と同じ建物にある3つの病室は回復期リハビリテーション病棟のスタッフステーションから遠く、動線が長い。病棟管理上問題がある。

資料5

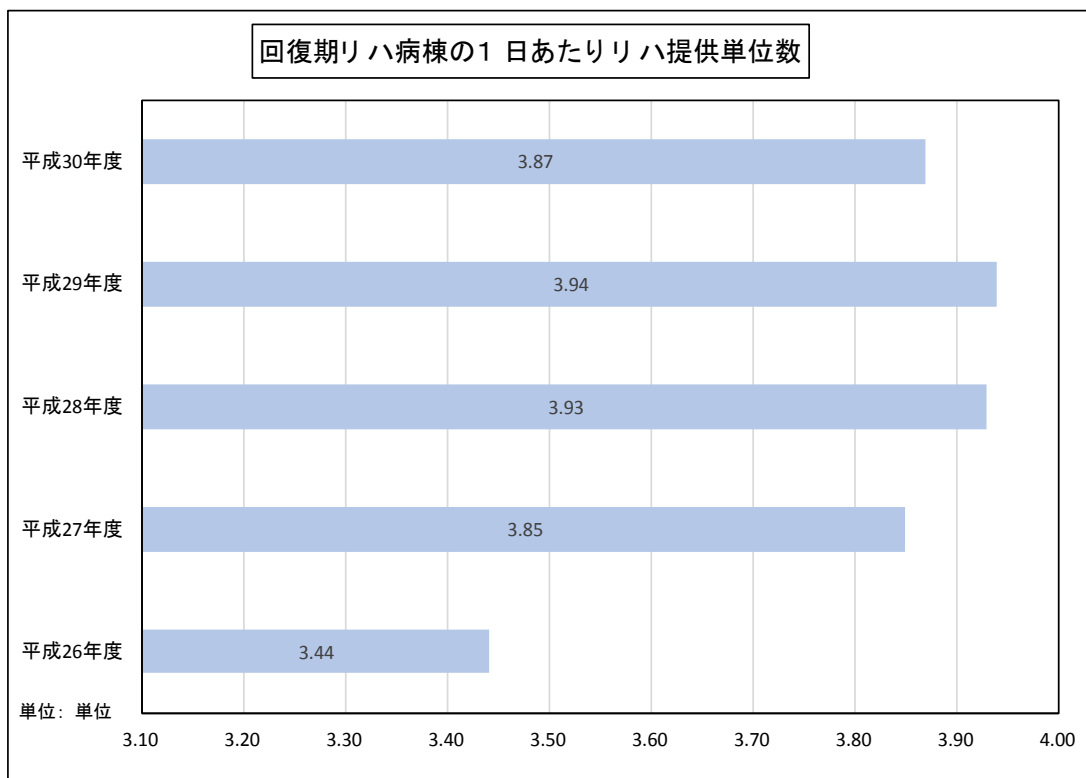


資料6

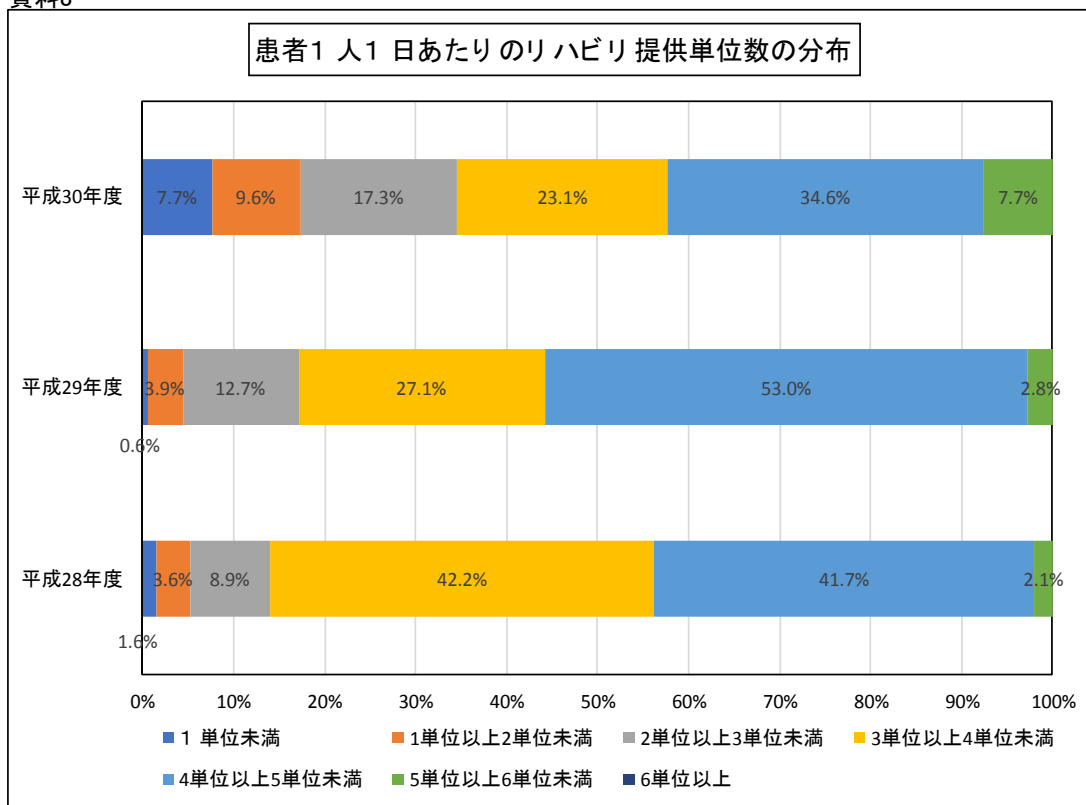


※平成30年度は30年4月～6月の実績

資料7

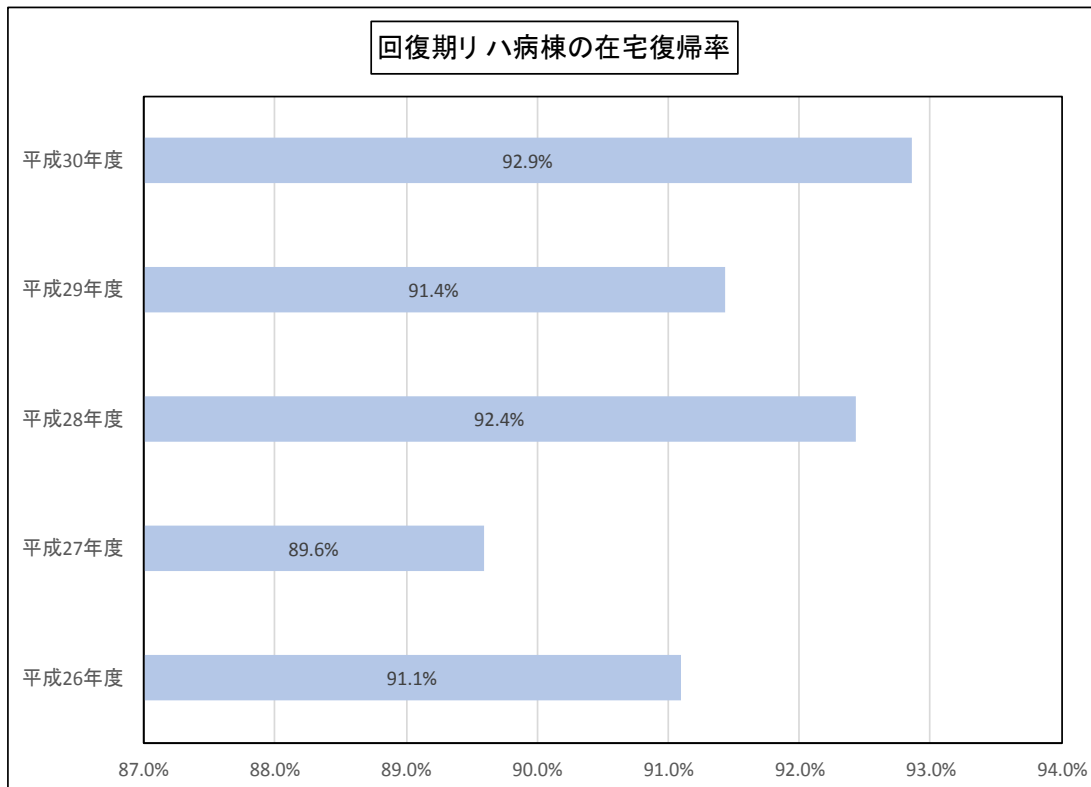


資料8

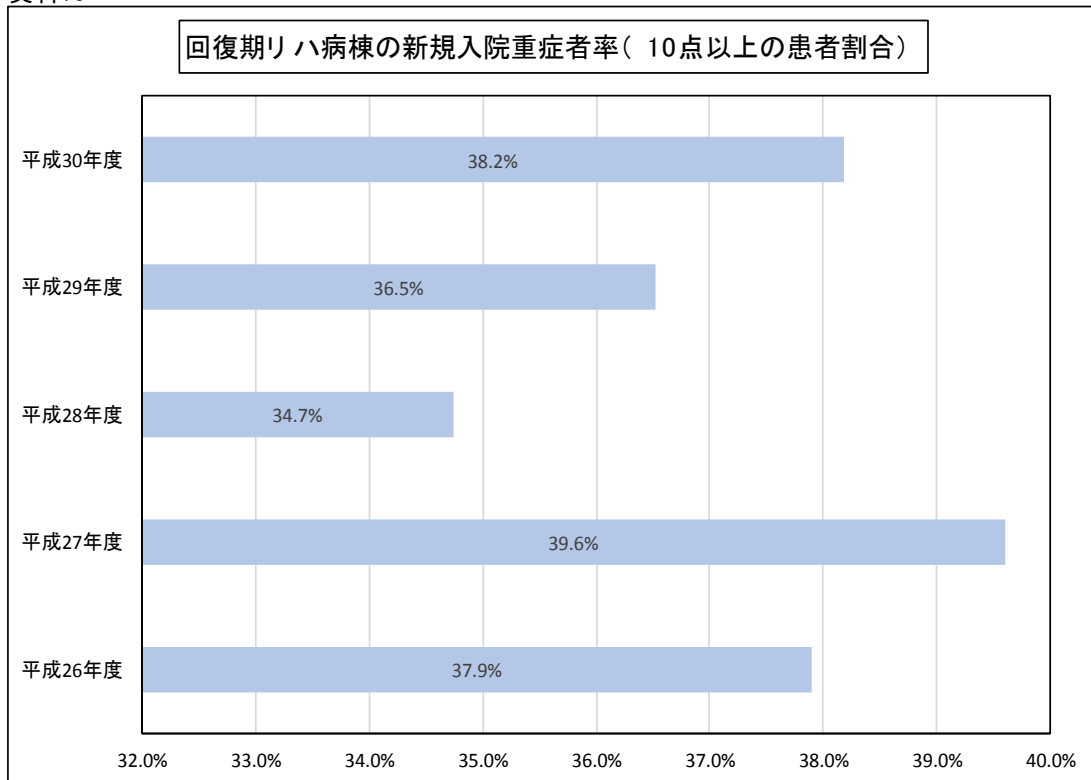


※平成30年度は30年4月～6月の実績

資料9

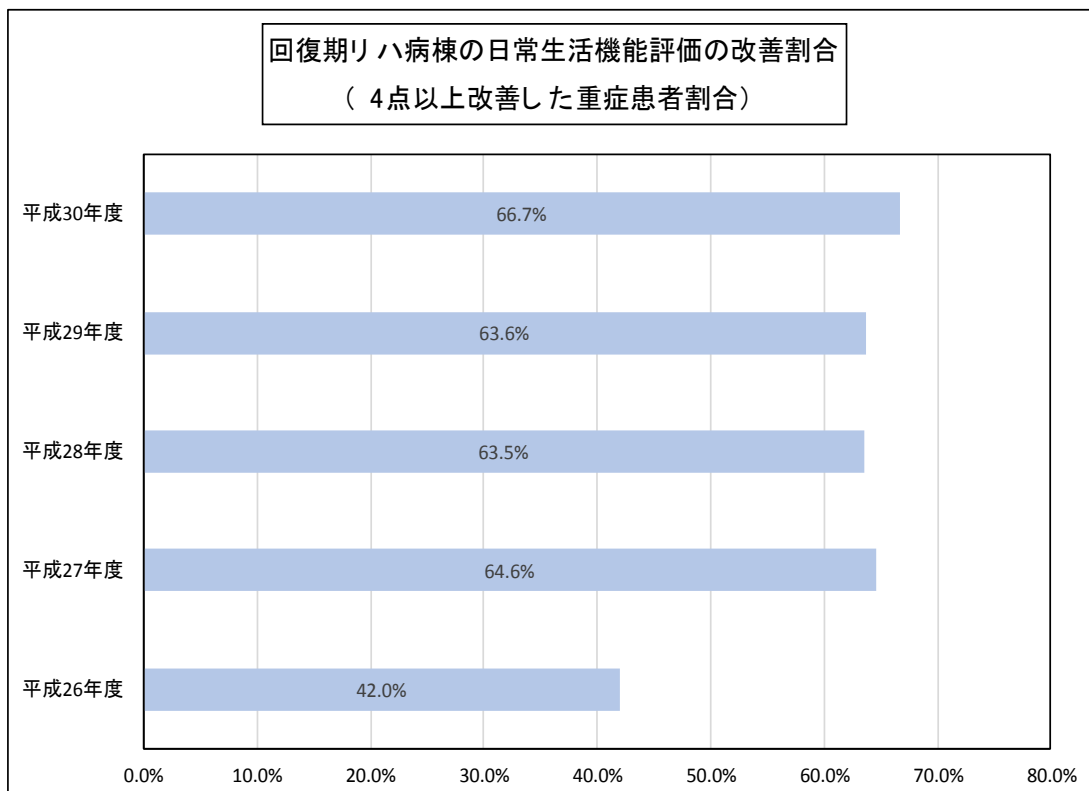


資料10

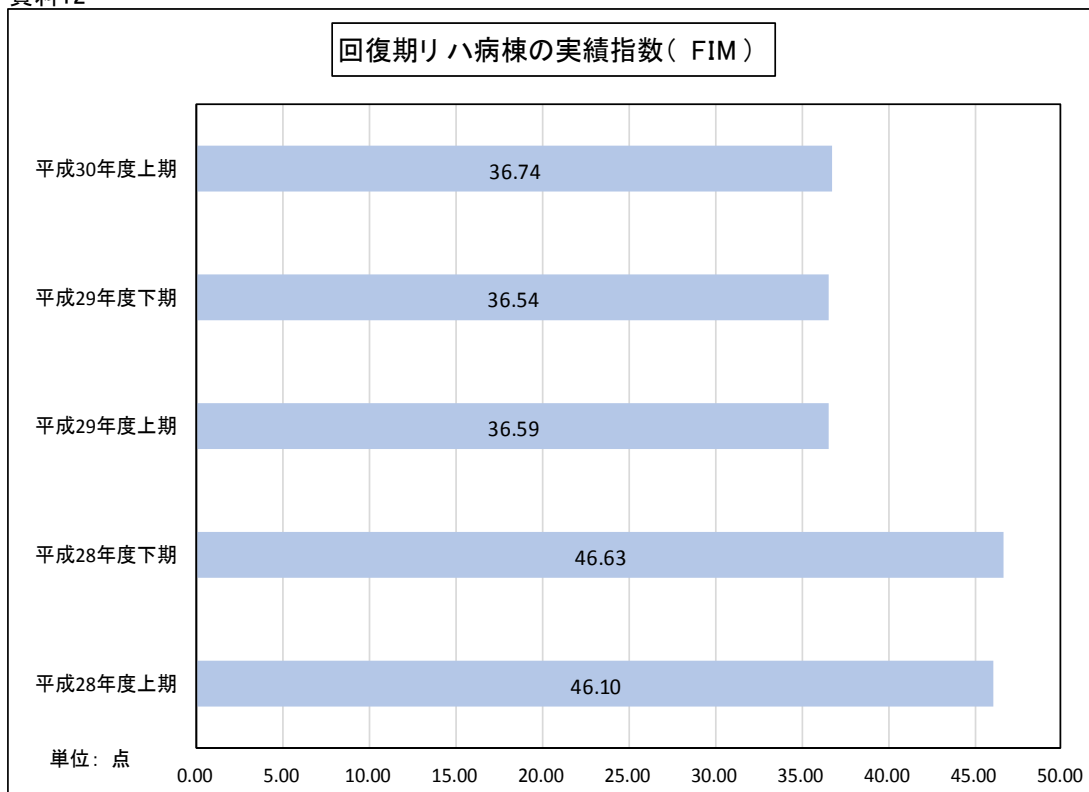


※平成30年度は30年4月～6月の実績

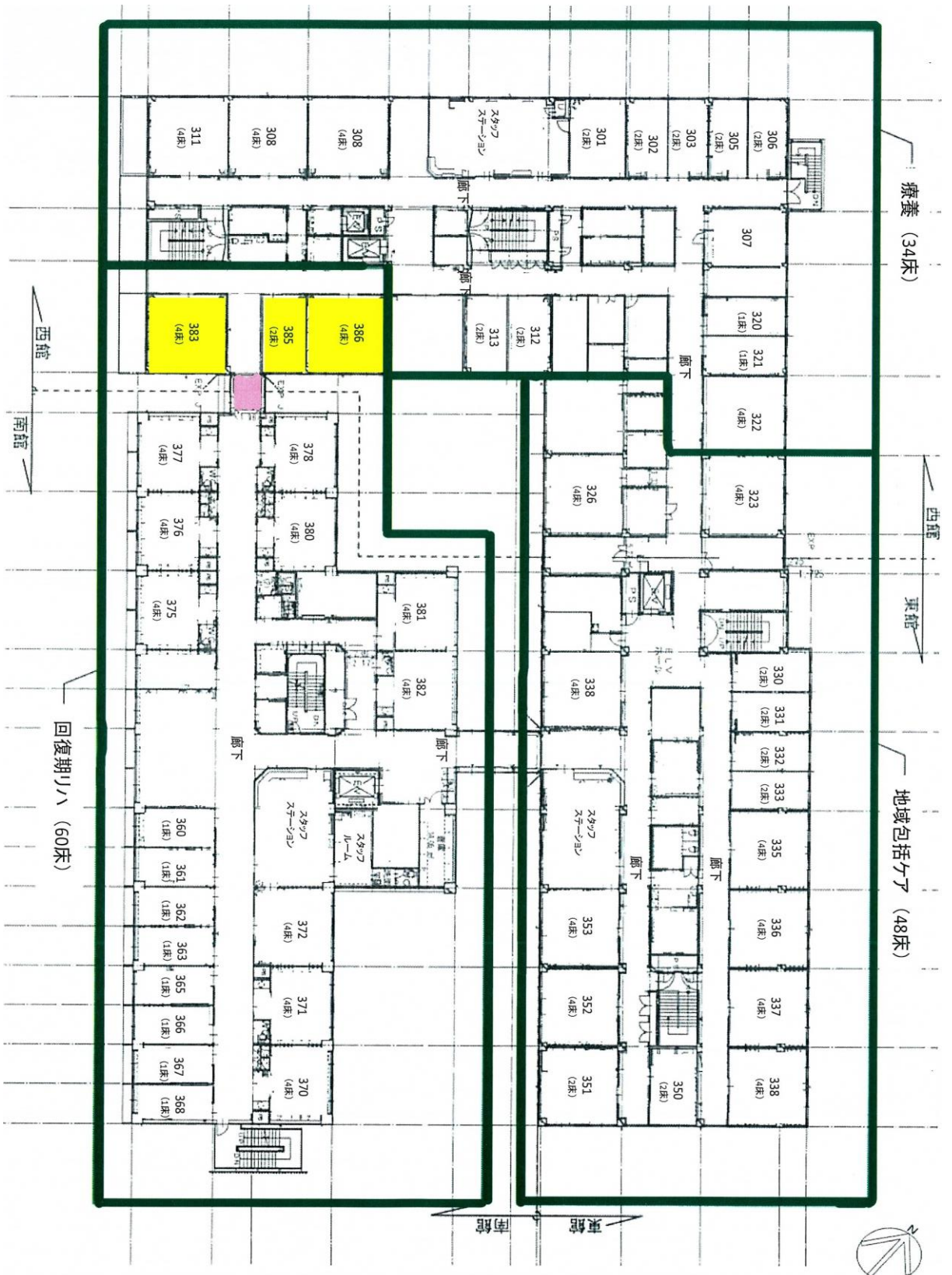
資料11



資料12



※平成30年度は30年4月～6月の実績



③ 地域医療構想区域の病床機能の課題

県南東部保健医療圏域の3つの医師会を区域別に検証すると、各病床機能別に地域間格差が生じていることがわかる。同医療圏の病床必要数に比べ、人口10万人あたりで見ると、急性期病床は、和気医師会に多く、赤磐医師会と邑久医師会では不足している。回復期病床は、3医師会共に不足しているが、特に和気医師会は無床である。慢性期病床は、3医師会共に充足しているが、赤磐医師会では他に比べ多くはない。

資料 14

岡山県東備地域3医師会における病院の入院機能
1. 病床種別内訳(平成29年6月30日現在とする。)

医師会	病院名	病床数											
		一般			療養				精神	結核感染	介護	計	
一般	回復期 ¹	地域包括 ²	障害	療養1	療養2	回復期 ¹	地域包括 ²						
赤磐医師会	A	103		48		34		55				5	245
	B	20			48			60					128
邑久医師会	C	410											410
	D	820											820
	E	69	30	11									110
	F					114					120		234
和気医師会	G	46					22		22				90
	H	40				52							92
	I	50											50
	J	48					36						84
	K	21		11		30					28		90
	L	39		37		22						26	124
計	12	1,666	30	107	48	252	118	55	22	120	28	31	2,477

2. 病床機能別病床数(平成29年7月1日現在の病床機能報告制度のデータを参考)

医師会	病院名	急性期	回復期			慢性期				その他	計	
			回復期 ¹	地域包括 ²	計	療養1	療養2	障害	地域包括 ²			計
赤磐医師会	A	103	60	48	108	34				34	245	
	B				0		60	48		108	20	128
邑久医師会	C				0					0	410	410
	D				0					0	820	820
	E	80	30		30					0		110
	F				0	114				114	120	234
和気医師会	G	46			0		22		22	44		90
	H	40			0	52				52		92
	I	50			0					0		50
	J	48			0		36			36		84
	K	32			0	30				30	28	90
	L	76			0	48				48		124
計	12	475	90	48	138	278	118	48	22	466	1,398	2,477

3. 急性期の病床数(予測)

医師会	病院名	急性期			2015年		2025年予想		2025年県南東部地域医療構想必要病床数			
		病院	医師会計	有床診療所 医師会計	病床数計	人口	人口10万 当病床数	人口	人口10万 当病床数	人口10万人 当たりの必要病床数	必要病床数	予想人口
赤磐医師会	A	103				58,516	261.47	54,434	281.07	3,335	879,061	379.38
	B		103	50	153							
邑久医師会	C											
	D		80	19	99	36,975	267.75	32,796	301.87			
	E	80										
	F											
和気医師会	G	46										
	H	40										
	I	50	292	6	298	49,591	600.92	42,955	693.75			
	J	48										
	K	32										
	L	76										
計	12	475	475	75	550	145,082	379.10	130,185	422.48			

4. 回復期の病床数(予測)

医師会	病院名	回復期			2015年		2025年予想		2025年県南東部地域医療構想必要病床数					
		回復期 ¹	地域包括 ²	計	医師会計	有床診療所 医師会計	病床数計	人口	人口10万 当病床数	人口	人口10万 当病床数	人口10万人 当たりの必要病床数	必要病床数	予想人口
赤磐医師会	A	60	48	108				58,516	184.56	54,434	198.41	2,927	879,061	332.97
	B			0	108	0	108							
邑久医師会	C			0										
	D			0	30	0	30	36,975	81.14	32,796	91.47			
	E	30		30										
	F			0										
和気医師会	G			0										
	H			0										
	I			0	0	0	0	49,591	0.00	42,955	0.00			
	J			0										
	K			0										
	L			0										
計	12	90	48	138	138	0	138	145,082	95.12	130,185	106.00			

5. 慢性期の病床数（予測）

医師会	病院名	慢性期						2015年		2025年予想		2025年県南東部保健医療圏				
		病院					有床診療所 医師会計	病床数計	人口	人口10万 当病床数	人口	人口10万 当病床数	人口10万人当たりの必要病床数			
		療養1	療養2	障害	地域包括 ⁷	計							医師会計	現在の病床数	予想人口	10万人当病床数
赤磐医師会	A	34				34	142	19	161	58,516	275.14	54,434	295.77	2,471	879,061	281.10
	B		60	48		108										
邑久医師会	C					0	114	0	114	36,975	308.32	32,796	347.60			
	D					0										
	E					0										
	F	114				114										
和気医師会	G		22		22	44	210	0	210	49,591	423.46	42,955	488.88			
	H	52				52										
	I					0										
	J		36			36										
	K	30				30										
	L	48				48										
計	12	278	118	48	22	466	466	19	485	145,082	334.29	130,185	372.55			

6. 慢性期の病床数（医療区分1の70%が、将来在宅医療等の医療需要に移行した場合の予測）

医師会	病院名	慢性期						2015年		2025年予想		2025年県南東部地域医療情勢必要病床数				
		病院					有床診療所 医師会計	病床数計	人口	人口10万 当病床数	人口	人口10万 当病床数	人口10万人当たりの必要病床数			
		療養1	療養2	障害	地域包括 ⁷	計							医師会計	必要病床数	予想人口	10万人当病床数
赤磐医師会	A	32				32	124	14	138	58,516	235.83	54,434	253.52	2,029	879,061	230.81
	B		44	48		92										
邑久医師会	C					0	106	0	106	36,975	286.68	32,796	323.21			
	D					0										
	E					0										
	F	106				106										
和気医師会	G		16		22	38	185	0	185	49,591	373.05	42,955	430.68			
	H	48				48										
	I					0										
	J		26			26										
	K	28				28										
	L	45				45										
計	12	259	86	48	22	415	415	14	429	145,082	295.69	130,185	329.53			

※ハンセン病療養所の病床は、医療保険適用分以外は推計の対象外とされる。

※表5において：2025年県南東部保健医療圏の人口10万人当たりの必要病床数における現在の病床数は2017年4月1日現在とする。

※表6において：医療区分1の患者の70%は将来時点で在宅医療等の医療需要と考慮して、病床数から削除する。算定方法は、療養1の場合は、医療区分1が9.7%、療養2の場合は、医療区分1が38.7%（平成29年8月4日中央社会保険医療協議会診療報酬調査専門組織資料）と仮定して、その70%を療養病床数から差し引く。診療所は療養2と仮定する。